

建学の精神：徳を樹つること、実践を貴ぶこと  
 教育理念：智と情と勇気をそなえ、実践を貴んで、社会に貢献する人間を育成する

学園ビジョン（法人全体の長期計画）  
 短期大学ビジョン（短期大学の長期計画）

中期計画【～2027年3月】※2024年3月見直し

マスタープラン	目標	1. 学生募集 社会の動向・大学に求められるニーズを踏まえ、戦略的に学生募集活動を展開する。	2. 教育の質 魅力ある授業の展開、学生の主体的な学びの促進、教育環境の充実等により、教育の質の向上を図る。	3. 学生支援 学修・生活環境を整備するとともに、学生の心身の健康・安心安全・多様性等に配慮した学生支援の充実を図る。	4. 就職・キャリア支援 学生の自己実現を目指し、地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実を図る。	5. 地域貢献 専門職養成機関として、地域課題解決に向けた各種事業の推進を図る。
	重点	① 高大接続事業の推進 ② 中学生への戦略的広報活動の展開 ③ 進学相談会・高校訪問の充実 ④ 選抜方法の見直し ⑤ 学生募集関連事業のデジタル化	① 真に社会に貢献する専門職の養成 ② 3つのポリシーを軸とした教育活動の展開と改善 ③ 学生の主体的な学びの促進 ④ FD活動の充実（授業改善への取組） ⑤ 教育DXの推進（ICT環境整備、学生・教職員のICTスキル向上）	① 学生の心身の健康に係る支援体制の強化 ② 安全安心に配慮した危機管理体制の充実 ③ 多様な学生への支援体制の確立 ④ 学生の主体的な活動の支援 ⑤ 奨学制度の導入・活用 ⑥ 学生にとって心地よい学修・生活環境の整備	① 学生の自己実現につながる就職支援の充実 ② 就職支援における地域との連携の強化 ③ 進学・編入学支援の強化 ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備	① 地域と連携した教育・研究の取組の充実 ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業推進 ③ 専門職の学び直しの機会の提供 ④ 地域住民に向けた学びの機会の提供 ⑤ 地域に向けた情報の発信
	責任者	学長	学長	学長	学長	学長
	主たる委員会または組織等	将来構想・情報戦略委員会（IR） 入学試験委員会	将来構想・情報戦略委員会（IR） カリキュラム委員会 教職課程運営委員会 学外実習委員会 FD委員会	将来構想・情報戦略委員会（IR） 学生総合支援委員会	将来構想・情報戦略委員会（IR） 就職・キャリア支援委員会	将来構想・情報戦略委員会（IR） 地域連携研究センター運営委員会
	主となる事務組織	短期大学事務局	短期大学教務部 短期大学事務局	短期大学学生部 短期大学事務局	短期大学学生部 短期大学事務局	地域連携研究センター 短期大学事務局

執行責任者	入学試験委員会委員長 アドミッション・オフィサー		短期大学教務部長 カリキュラム・コーディネーター (カリキュラム委員会委員長)		短期大学学生部長 (学生総合支援委員会委員長)		就職・キャリア支援委員会委員長		地域連携研究センター長 (地域連携研究センター運営委員会委員長)	
	食物栄養科・保育科（専攻科を含む） 入学試験委員会 短期大学事務局		食物栄養科・保育科（専攻科を含む） 短期大学教務部 短期大学事務局		食物栄養科・保育科（専攻科を含む） 短期大学学生部 短期大学事務局		食物栄養科・保育科（専攻科を含む） 就職・キャリア支援委員会 短期大学事務局		食物栄養科・保育科（専攻科を含む） 地域連携研究センター運営委員会 短期大学事務局	
アクションプラン	業務内容	2023	① 高大接続の内容充実と強化を図る ② 中学生への戦略的広報活動を継続的に展開する ③ 進学相談会・高校訪問を強化充実する ④ より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う	① 卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、アクティブ・ラーニングの充実を図る ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ アクティブ・ラーニングを前提としたICT環境整備の一環として、コンピューター実習室の改善を行うとともに、学生個人用ノートパソコンの携帯を推奨する体制を整備する ⑥ 学生自身が主体的に学修成果を振り返ることを目指して、新教務システムと連動したLMSへの移行準備を進めるとともに、学修証明のデジタル化を進める	① 入学時スクリーニング調査（UPI）の活用を継続展開する ② 全学一斉（食物栄養科・保育科・専攻科保育専攻）の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を図る（平時の地震想定避難計画、平時の「備え」マニュアル策定） ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、障がい学生支援に向けた体制整備を進める ④ 「高等教育の修学支援制度」「ポラーノ」「専攻科特待生制度」等の修学支援制度の活用を継続する ⑤ SAによる障がい学生の支援に対応するピア・サポート制度の充実、学友会を中心とした課外活動の振興を継続的に図る ⑥ 学生参画の自己点検評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援を継続推進する	① 地域と連携した教育・研究の取組を推進する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業の検討・実施を行う ③ ホームカミングデイ事業を展開し卒業生の学び直しの機会とするとともに、さらなる専門職の学び直しの機会として研修会を企画実施する ④ 地域住民に向けた学びの機会となる公開講座等について、テーマを厳選したうえでさらなる拡充を図る ⑤ 地域連携研究センターのICT環境を整備するとともに、地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に図る			
		2024	① 高大連携校を新規に開拓する ② 中学生への戦略的広報活動を拡大する ③ 進学相談会・高校訪問の在り方を見直し、強化充実する ④ より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う ⑤ 入学前学習のオンライン化を促進するとともに、Web出願の準備を進める	① 卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程を再編の検討を始める ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ 学生自身が主体的に学修成果を振り返ることを目指して、LMSの活用を見直すとともに、学修証明のデジタル化を拡充する	① 心身の健康に関わる支援を継続する ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を図る ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の整備を継続する ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の実施体制の見直しを行う ⑤ 修学支援制度の活用を継続する ⑥ 学生参画の自己点検評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制を整備する	① 地域連携研究の実施体制を再整備する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を拡充するとともに、新規連携先・連携事業を検討する ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会のあり方を検討する ④ 地域住民に向けた学びの機会として、公開講座の実施を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に図る			
		2025	① 高大接続の内容充実と強化を図る ② 中学生への戦略的広報活動を継続的に展開する ③ 進学相談会・高校訪問を強化充実する ④ より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う ⑤ 入学前学習のオンライン化するとともに、Web出願の導入を開始する	① 卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程を展開する ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ 学生自身が主体的に学修成果を振り返ることを目指して、学修証明のデジタル化の拡充を継続する	① 心身の健康に関わる支援を継続展開する ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の改善を継続する ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の整備を継続する ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を図る ⑤ 修学支援制度の活用を継続する ⑥ 学生参画の自己点検評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題に関する共同研究を開始する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を拡充するとともに、新規に自治体・企業等との連携を進める ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ ニーズとシーズの観点から公開講座のあり方を見直し、専門職養成の知見を活かした公開講座の提供体制を再整備する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に図る			
		2026	① 高大接続の内容充実と強化を継続する ② 中学生への戦略的広報活動を継続的に展開する ③ 進学相談会・高校訪問を強化充実する ④ より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う ⑤ Web出願・入学前学習等、デジタル化された事業を改善する	① 卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続する ② 真に社会に貢献する専門職像を明確にし、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する ③ 外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、学生の興味関心に基づく科目選択を可能とする教育課程の充実を図る ④ FD活動を通して授業改善を継続する ⑤ 学生自身が主体的に学修成果を振り返ることを目指して、学修証明のデジタル化の拡充を継続する	① 心身の健康に関わる支援体制のPDCAを確立しさらに充実させる ② 全学一斉の防災訓練を継続実施するとともに、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を継続する ③ 多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、出口支援に向けた体制の拡充を図る ④ SA活動や学友会を中心とした課外活動の振興を継続する ⑤ 修学支援制度の活用を継続する ⑥ 学生参画の自己点検評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する	① 学生の自己実現につながる就職支援を継続する ② 卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動における連携体制の運用を継続する ③ 進学・編入学支援を継続する ④ 卒業生へのキャリア支援体制の整備を継続する	① 地域課題に関する共同研究を継続する ② 自治体、企業等との連携協定に基づく事業を拡充するとともに、新規に自治体・企業等との連携を進める ③ 専門職団体と連携し、学び直しの機会の提供を継続する ④ 専門職養成の知見を活かした公開講座の提供を継続する ⑤ 地域に向けた情報発信強化のため、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に図る			

ガバナンスとPDCA	執行責任者	学長 食物栄養科・保育科（専攻科保育専攻を含む） 将来構想・情報戦略委員会（IR）、自己点検・評価委員会、学外助言評価委員会 地域連携研究センター 短期大学事務局
	事業計画名・業務内容	自己点検・評価

(注1) 「マスタープラン」欄の「重点」については、優先順位に応じて列記している。  
 (注2) 「マスタープラン」欄の「重点」について特に期限を定めていない場合は、中期計画終了時（2027年3月まで）を期限とする。